



アカイの特別な 敷物

Ursula Nafula
Catherine Groenewald
日本語 Annie Ue



保護者の方へ

3つのレベル お子さんに合ったレベルを選びましょう。質問やコメントをする時には考える時間を与えましょう。お子さんが答えに詰まった時は手助けをし、正しい答えには少し膨らませた質問やコメントをしてみましょう。

レベル1 簡単で直接的な質問をします。見えるものについて尋ねたり指をさしたりしましょう。おもちゃはどこかな？何をしているのかな？その名前は何かな？色は何かな？いくつボールがあるかな？

レベル2 お話のある部分について一般的な質問または自由に答えられる質問をしてみましょう。ここで何が起きていると思う？この物の仲間は何かな？

レベル3 お話の筋について質問をしてみましょう。何が起こったのかな？次はどうなるかな？これと似たようなことが前にあったかな？この時、この子はどう感じているかな？

算数のテーマと内容 この物語では、形、色、スキップカウント（2、4、6、8、10のように数を飛ばして数える）練習をします。練習内容：パターン、列、明るい、暗い、長方形、三角形、丸、側面、円、同心円（中心が同じ重なった円）、浅い、薄い、近い、遠い、違い、色の名前、虹の色、ペア、倍数、スキップカウント。

楽しく読んで話しましょう！ 書かれている質問やコメントはほんの一例に過ぎません。

1 回目は赤の質問とコメントを読みます。

2 回目は青の質問とコメントを読みます。

3 回目は緑の質問とコメントを読みます。

その後はお子さんの興味に合わせて、楽しい方向に話を進めてください。



アカイが小さい頃、お母さんは美しい敷物の上でアカイを寝かせました。この特別な敷物はアカイのおばあさんが、ヤシの葉で作ったものでした。

1. この部屋のいろんなところにある、美しい色と模様に注目してください!

2. この絵に描かれている形をできるだけ多く見つけ出し、それらを説明してください。

3. あなたは、毛布など、寝るときに使うお気に入りのアイテムはありますか?



そのマットは、ピンク、ブルー、グリーンと鮮やかな色をしていて、お母さんが小屋に置いていた他のマットとは違いました。

1. アカイのマットのパターンについて話し合ってください。列には明るい色と暗い色が交互に並んでいます。そして、赤、緑、青が2列ずつペアになっています。

2. 長方形とは、このページのような4つの辺で作られた形のことです。この敷物は長方形で、横に9つの長方形が並んだ列が、全部で30列あります。

3. 横に並んだ9つの長方形を1列として、30列あるとマットにある長方形の数は全部で270個になります。30ずつ数

えて270まで数えられますか（30, 60, 90・・・）？もしできなかったら、3ずつ数えて（3, 6, 9・・・）、27まで数えてみてください。



アカイの家は、とても乾燥している暑い土地にあり、周りには石がたくさんありました。サソリやクモ、ヘビもたくさんいました。でも、アカイはそれらの危険な生きものに噛まれたことは一度もありませんでした。

1. アカイの周りにいる小さな生き物を全部見つけてください。敷物は危険な生き物から彼女を守ってくれたと思いますか？

2. もし、あなたが危険なものに囲まれているとしたら、この写真のアカイのように笑顔で過ごすことができますか？

3. 遠くの丘は、近くの丘よりも薄くて明るい色になっていることに注目してください。写真の中で、何が近くて何が遠いのかを見分けるのに、色の濃淡が参考になることがよくあります。



お母さんは「あなたの特別な敷物が、アカイをいろんな恐ろしいものから守ってくれているんだね。」と言いました。

1. この敷物のように、何か特別な魔法の力を持っていると思いますか？
2. 何か魔法の力であなたを守ってくれていると信じているものはありますか？
3. 長方形だけでなく、いろいろな形が描かれています。この絵の中にある三角形と丸い形を見つけましょう。



アカイはとても賢い子でした。彼女は近くの浅い井戸がどこにあるのかを見つけました。

1. 乾燥した土地で、浅い井戸を見つけることは、彼女の村にとって、とても重要なことでした。村人たちは、アカイのことをとても大切に思っていたに違いありません。

2. 彼らの服には、さまざまな美しい色があります。この写真の中で、虹の7色のうち、何色が欠けているか分かりますか？

3. 2本ずつ数えると、すべての脚を数えることができます。腕も同じように数えることができます。では、腕と脚と一緒に数えるにはどうしたらいいのでしょうか？2ずつ数えますか？それとも、4ずつ数えますか？



アカイはおばあさんの集落がどこにあるかも知っていて、ラクダのミルクをおばあさんと一緒に飲むためによく行きました。

1. 集落とは小さな村のことです。アカイは、住んでいる地域の道を見つけるのがとても上手でした。あなたは、自分の住んでいる地域で、いろいろなことを見つけるのが得意ですか？

2. 方向をよく感じ取れる人もいるし、方向音痴の人もいます。あなたはどちらですか？

3. おばあさんの敷物は、アカイの敷物ととてもよく似ています。二つの敷物の違いを見つけてみましょう。



ある日、アカイはついていませんでした。彼女はおばあさんの集落に行こうと出かけましたが、丘で迷子になりました。アカイは怖くなりました。

1. いくら得意なことでも、失敗することもあります。最近、あなたにもそういったことがあったか、考えてみましょう。

2. 私たちは自分の失敗を認めたくありませんが、失敗を無視してはいけません。失敗することはとても大切なことで、自分自身について教えてくれることがたくさんあります。

3. この写真のアカイの様子から、彼女が不安になっていることが分かりますか？



彼女は木の下に座って助けを待っていましたが、すぐに寝てしまい、夢を見ました。

1. もしあなたが暑い日に迷子になったら、涼しい日陰を探して、救助を待つのが賢明です。猛暑は非常に危険なものであるため、慎重に対処する必要があります。

2. 人はいろいろな夢を見ます。怖いもの、楽しいもの、ばかばかしいもの、そしてとても現実的なもの。あなたはどんな夢を見ますか？

3. 木は上に行けば行くほど、枝分かれます。1つの枝は2つに、そしてそれらは4つに、と続いていきます。あなたは二倍ずつ増やしていき、どこまで数えることができますか？



これはアカイが見た夢の内容です。彼女は特別な敷物の上に横になっていました。彼女のおばあさんに似た女性が彼女を見ていました。その女性は笑顔で、ラクダのミルクが入った器を彼女にあげました。アカイがミルクを飲もうと手を伸ばした瞬間、彼女は目を覚ましました。

1. あなたは夢からメッセージを受け取ることはできると思いますか？それともそんなことはないと思いますか？この夢はアカイに何を伝えようとしていたのでしょうか？

2. おばあさんの顔のすぐ前にある、色のついた丸に注目してください。中心が共通する円は同心円と呼ばれます。

3. 彼女の服やジュエリーに繰り返し登場する色と、一度しか登場しない色は何色ですか？

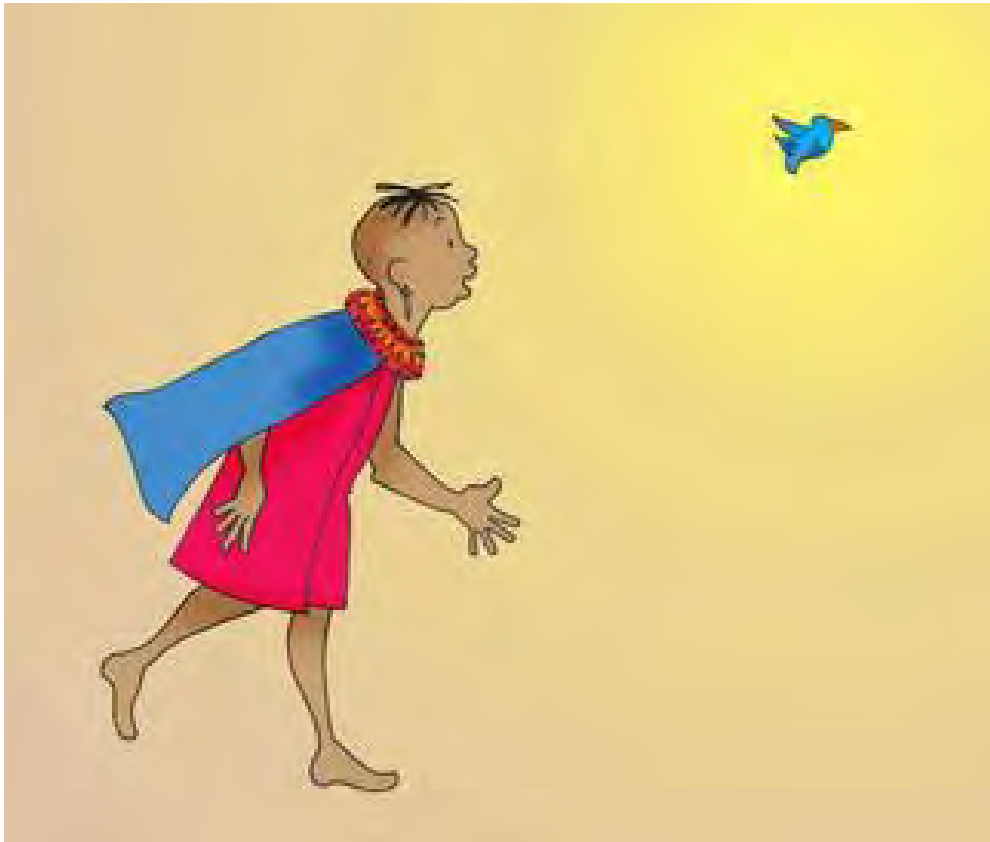


アカイはゆっくり目を開けました。見上げると、頭の上の枝に青い小鳥が止まっていた。

1. 作家は、物語の中で何か特別なものをシンボルとして使うことがあります。青い鳥は、この物語の中で何か特別なシンボルだと思いますか？それとも特別な理由をもたない、ただの青い鳥だと思いますか？

2. 2ページ前にも同じ木がありました。しかし、このページの木と前回登場した木にはいくつかの違いがあります。いくつかの違いをあなたは見つけることができるでしょうか？

3. アカイとその鳥はお互いを見つめ合っています。もし彼女たちが会話ができるのであれば、どんなことを話しているのでしょうか？



アカイが起き上がった時、その小さな青い鳥は羽をはばたかせて、アカイのために道案内をしました。そして、アカイは鳥について行きました。

1. 鳥のスピードは速く、必死について行きました。あなたは野生の動物がどこに行くのか、追いかけてみたことはありますか？

2. もしあなたが危険な場所で迷子になったとしたら、あなたは不思議な動物にあなたの安全を委ねて信じますか？アカイは本当に信じています。

3. どのような結末になるのでしょうか？この鳥はアカイを安全に誘導するのでしょうか？それとも彼女は不思議な鳥について行くことで、さらに迷子になっていくのでしょうか？



アカイは道が二手に分かれている場所に着きました。その鳥はアカイのマットによく似たマットの切れ端を落としました。

1. 鳥がマットの切れ端を落とすなんて、とても珍しいことです。この鳥を信頼するのも悪くないかもしれません。あなたはと思いますか？

2. 鳥が写っている他の絵には、そのマットの切れ端は写っていませんでした。あのマットはどこから来て、どうやって手に入れたものなのでしょう？

3. アカイの表情を見てみましょう。彼女の表情から、どのような気持ちが伝わってきますか？



マットの切れ端を手にとると、アカイはお母さんの足跡を見つけました。そしてすぐに、お母さんが水を汲んでいた浅い井戸が見えてきました。

1. あの不思議な鳥を信じたことが幸いしました。彼女は本能に従って、鳥を信頼することで、無事に帰ることができたのです。

2. あなたは、いつもと違う状況で、何かや誰かを信頼しなければならなかった経験がありますか。相手が信頼に値する人であるのかを判断するには、細心の注意を払わなければなりません。

3. あなたは他の人の足跡がどのようなものか知っていますか？

か？方向を感じ取って道を進んで行くことが大切な地域で生活をしていると、いろいろな人や動物の足跡が分かるようになるのでしょうか？



アカイの家族は、歌ってダンスをして彼女が帰ってきたことを歓迎しました。そして、アカイが安全に戻ってきたことを祝い、ごちそうを作りました。

1. アカイが安全に帰ってきたことで、どんなにみんなが喜んだのかを話し合ってみましょう？

2. 彼らの服の色は美しいパターンの色をしています。あなたが一番好きなのは、それらの中のどれですか？

3. この物語に登場するたくさん的人是なサンダルを履いていますが、アカイは裸足で過ごすことが好きです。あなたはどちらが好きですか？



アカイは特別な敷物に座って、美味しい食事を楽しました。

1. その恐ろしい体験をした日の終わりは、彼女はとても幸せそうでした。物騒な事件の後、慣れ親しんだ安全な場所に帰ることは素晴らしいことです。

2. あなたには、特に安全で心地よいと思えるお気に入りの場所がありますか？

3. 彼女の幸せは敷物がもたらしたものなのでしょうか？それとも彼女自身から生じたものなのでしょうか？

Akai's special mat

Author -- Ursula Nafula

Illustration -- Catherine Groenewald

Language -- English

Level-- First paragraphs

© African Storybook Initiative 2014

Creative Commons: Attribution 4.0

Source www.africanstorybook.org